

**総合的な学習の時間
(福祉体験)**

山北町立山北中学校

学習目標

- ・ボランティアの方々から障害者の方々と接するときの心構えと、車椅子の扱い方や手話、点字などの技能を学ぶ。
- ・進んでボランティア活動に参加し、社会に貢献しようとする態度を養う。

(1) 実施時期

10月下旬

(2) 対象(学年等・人数)

3学年 106名

(3) 指導者(教諭・外部講師等)

外部講師：町社会福祉協議会から派遣されたボランティア

(4) 実施内容

- ・学校行事として、第3学年全員を対象に「福祉体験学習」を行った。「車いすの扱い」「手話」「点字の読み書き」の3つの内容を下記の表のように学級ごとに分かれて体験した。
- ・手話については、町の手話サークル「虹」のメンバーに指導していただいた。
- ・手話は音声を使わない「視覚言語」であること、また、書くことのできない「空間文字」であること等の説明を聞き、そのあと実際に手話を使ってみる経験をした。

	13:25~13:45	13:50~14:10	14:15~14:35
A組	車いすの扱い	手話	点字の読み書き
B組	点字の読み書き	車いすの扱い	手話
C組	手話	点字の読み書き	車いすの扱い

(5) 成果

- ・どの体験も、生徒は興味深く学び、積極的に講師に質問するなど、意欲的に取り組んでいた。
- ・手話について、生徒からは「声を出さずに通じ合えるところが興味深い」、「必要な時に使えるようになりたい」などの感想が出され、体験教室の後、自分の名前を手話で話したり、手話で挨拶をしたりする様子が見られた。

